

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
乳肉水産食品部会
議事次第

日時：平成23年12月20日（火）

10:00～12:00

場所： 三田共用会議所 大会議室

1. 開会

2. 議題

(1) 生食用牛レバーの取扱いについて

(2) その他

3. 閉会

<配布資料>

資料 1 : 生食用牛レバーの取扱いについて

資料 2 : 牛レバーにおける腸管出血性大腸菌等の汚染実態調査 (概要)

資料 3 : 全国食肉事業協同組合連合会提出資料

資料 4 : (社) 日本畜産副産物協会提出資料

<参考資料>

参考資料 1 : 生食用牛レバーの取扱いについて (案) (本年 7 月 6 日食中毒・乳肉水産食品合同部会資料 6)

参考資料 2 : 生食用牛レバーの取扱いについて (本年 7 月 6 日食安発 0706 第 1 号)

参考資料 3 : 牛レバー内部における腸管出血性大腸菌等の汚染実態調査 (詳細版)

参考資料 3-1 : 各機関からの報告① (腸管出血性大腸菌調査) ※委員のみ配布

参考資料 3-2 : 各機関からの報告② (大腸菌群) ※委員のみ配布

参考資料 4 : 牛レバー等における汚染実態調査 (農林水産省、速報版)

参考資料 5 : 生食用食肉 (牛及び馬) における危害評価 (本年 7 月 6 日食中毒・乳肉水産食品部会参考資料 5)

参考資料 6 ※委員のみ配布

1. 松本紀子、谷脇妙、絹田美苗、千屋誠造. 牛胆汁中における病原微生物汚染状況について. 高知衛研報 51, 2005, p. 33-36.
2. 松本紀子、谷脇妙、絹田美苗、千屋誠造. 食由来病原微生物の環境モニタリング. 高知衛研報 52, 2006, p. 25-33.
3. 松本紀子、谷脇妙、絹田美苗、千屋誠造. 牛の胆汁及び肝臓中から分離されたカンピロバクター並びに志賀毒素産生性大腸菌の血清型について. 高知衛研報 53, 2007, p. 37-40.
4. 宮崎憲明、梅原芳彦、渡部富廣、上田成一、白井玄爾. 生食用肉のサルモネラ及び病原大腸菌汚染調査. 長崎県衛生公害研究所報 40, 1994, p. 68-72.
5. 筒井里華、対馬典子、大友良光. 食品の食中毒菌汚染実態調査. 青森県環境保健センター研究報告, 2000, p. 52-54.
6. 久門勝利、内村眞佐子、依田清江、岸田一則、横山栄二、小岩井健司. 市販食品 (生食用野菜および食肉) の細菌汚染実態調査-1998 年度. 千葉衛研報告 23 号, 1999, p. 15-19.
7. 熊谷学、齋藤幸一、菅原善弘、佐藤卓、田頭滋、小林良雄. 岩手県の志賀毒素産生性大腸菌について (3). 岩手衛研年報 42, 1999, p. 13-16.
8. 久門勝利、内村眞佐子、依田清江、横山栄二、小岩井健司. 市販食品 (生食用野菜、食肉、イカ乾製品および加工食品) の細菌汚染実態調査-1999 年度. 千葉衛研報告 24 号, 2000, p. 31-34.
9. 北瀬照代、石井栄次. 市販の牛内臓肉の腸管出血性大腸菌 0157 汚染状況について. 大阪市立環科研報告 平成 16 年度 第 67 集, 2005, p. 15-19.

10. 江藤良樹、市原祥子、村上光一、濱崎光宏、竹中重幸、堀川和美. 平成 19 年度食品の食中毒菌汚染実態調査. 福岡県保健環境研究所年報 第 35 号, 2008, p.108-110.
11. 江藤良樹、市原祥子、村上光一、濱崎光宏、竹中重幸、堀川和美. 平成 20 年度食品の食中毒菌汚染実態調査. 福岡県保健環境研究所年報 第 36 号, 2009, p.107-109.
12. H. ASAKURA, E. SAITO, Y. MOMOSE, T. EKAWA, M. SAWADA, et.al. Prevalence and growth kinetics of Shiga toxin-producing *Escherichia coli* (STEC) in bovine offal products in Japan. Epidemiol. Infect., 2011, p.1-10.

参考資料 7 ※委員のみ配布

1. S Reinstein, et al. 2007. Prevalence of *Escherichia coli* 0157:H7 in Gallbladders of Beef Cattle. Applied and Environmental Microbiology Feb. 2007: 1002-1004.
2. Jeong, K.C. et al. 2007. Isolation of *Escherichia coli* 0157:H7 from the gall bladder of inoculated and naturally-infected cattle. Veterinary Microbiology 119(2007): 339-345.

参考資料 8 ※委員のみ配布

品川邦汎. 牛の内臓肉（肝臓）の汚染とその防止. 獣医畜産新報. Vol60 No.11 2007.